

③ アセスメントシート

氏名 福祉 知朗

記入 相談支援専門員 定禅寺ひかる

項目		介助の有無	程度	項目		介助の有無	程度
日常生活面	起居動作	起き上がり	<input type="checkbox"/> 有		衛生保持	手洗い	<input type="checkbox"/> 有
		寝返り	<input type="checkbox"/> 有			爪切り	<input type="checkbox"/> 有
	姿勢保持	座位	<input type="checkbox"/> 有			耳掃除	<input type="checkbox"/> 有
		立位	<input type="checkbox"/> 有			月経	<input type="checkbox"/> 有
	移動	屋内	<input type="checkbox"/> 有		行排泄	排尿	<input type="checkbox"/> 有
		屋外（徒歩）	<input type="checkbox"/> 有		排便	<input type="checkbox"/> 有	
	衣類着脱	着脱行為	<input type="checkbox"/> 有		食事全般	飲食行為	<input type="checkbox"/> 有
		服装の選択	<input type="checkbox"/> 有			食事状況	<input type="checkbox"/> 有
	整容行為	歯磨き	<input checked="" type="checkbox"/> 有			食事の後片付け	<input type="checkbox"/> 有
		洗顔	<input checked="" type="checkbox"/> 有		調理全般	調理	<input checked="" type="checkbox"/> 有
		整髪	<input checked="" type="checkbox"/> 有		安全確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有	
		ひげ剃り	<input checked="" type="checkbox"/> 有		入浴全般	入浴の準備と片付け	<input type="checkbox"/> 有
	化粧	<input type="checkbox"/> 有	入浴			<input type="checkbox"/> 有	
	家事全般	洗濯	<input checked="" type="checkbox"/> 有			洗濯物干し	<input checked="" type="checkbox"/> 有
		洗濯物干し	<input checked="" type="checkbox"/> 有			掃除	<input checked="" type="checkbox"/> 有
		掃除	<input checked="" type="checkbox"/> 有		衣類整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有	
衣類整理		<input checked="" type="checkbox"/> 有	所持品整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有			
			所持品整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有			
			ベットメイク	<input type="checkbox"/> 有			
<p><b>特記事項</b></p> <p>父親がある程度身の回りのこと（調理、洗濯、掃除など）は、やってくれていた。知朗さんは、積極的に身だしなみを整えたり、片付けたりすることも苦手だが、声掛けがあればなんとか自分でできる。物が多く、部屋に服や小物類が溜まってしまふ。日常生活でやらなければならないことの優先順位がつけられない。家事をやった経験がないが、援助があればできるようになると予測できる（父親が予測）。朝起きるのが苦手なので、就労継続支援B型事業所に通う時には遅刻が頻回になることが心配される。</p>							
コミュニケーション	<p>困ったときに相談しているところ 生活上の支援機関、支援者など</p> <p>相談支援センター「ひまわり」・・・サービス等利用計画作成 相談支援</p> <p>就労センター「スマイル」・・・利用予定の就労継続支援B型</p> <p>グループホーム「ピアハウス」・・・利用予定のグループホーム</p> <p>七夕病院（内科・精神科）・・・外来通院先</p> <p>意思の表現方法</p> <p>言葉でのコミュニケーションが十分できる。最初の上司が仕事を教えていた時は、時間がかかるが分かるまで教えてくれたので、本人も安心して仕事できていた。手順が分かれば、飲み込みが早い。ただ自分から積極的に質問するタイプではなく、困ったことや心配なことがあっても自ら相談できなかった。周りの人は分かっていると思って仕事を進めてしまうので、本人は分からずに少しパニックになってしまうことがあった。</p>						
社会参加・移動	<p>好きなこと</p> <p>昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので、木工が好き。買い物やゲーム。</p> <p>嫌いなこと</p> <p>怖そうな人・すぐに怒りそうな人</p> <p>移動の方法</p> <p>徒歩。これまで公共交通機関を利用する機会はなかったが、練習すれば利用できそう。</p>						
家庭生活	<p>グループホームで生活する予定</p> <p>家庭での主な介護者 父親 介護者の状況 もともとは大工。交通事故で右半身に麻痺が残り、自分のことで精一杯な状況。</p>						
経済状況	<p>主な生活財源 生活保護受給 預貯金</p> <p>就労による収入 0円/月 0円</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>基礎年金 <input type="checkbox"/>障害者特別手当 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>金銭管理は、仕訳を手伝えればその金額の中で使用することは可能。ただし欲しいもの（菓子・ケーキなど）を買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。</p>						

	項目	介助の有無	程度	特記事項
	行動面	行動面での障害1	こだわり行動	
徘徊			<input type="checkbox"/> 有	
無断外出			<input type="checkbox"/> 有	
無断外泊			<input type="checkbox"/> 有	
錯覚・幻視・幻聴			<input type="checkbox"/> 有	
被害妄想			<input checked="" type="checkbox"/> 有	近所の人たちから、バカにされていると思っている。
自殺願望・企画			<input type="checkbox"/> 有	
不潔行為			<input type="checkbox"/> 有	
異食行為			<input type="checkbox"/> 有	
収集癖			<input type="checkbox"/> 有	
行動面での障害2		物忘れ	<input type="checkbox"/> 有	
		反社会的行為 (盗癖、虚言など)	<input type="checkbox"/> 有	
		自傷行為	<input type="checkbox"/> 有	
		他者に対する粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有	
		器物に対する粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有	
		奇声や騒がしさ	<input type="checkbox"/> 有	
		パニック	<input checked="" type="checkbox"/> 有	物ことの進め方が分からないと起きる。
		多動・行動の停止	<input type="checkbox"/> 有	
感情・障害		思考障害	<input type="checkbox"/> 有	
	感情不安定	<input checked="" type="checkbox"/> 有	困ってしまうと感情も不安定になる。	
	過大・過小評価	<input type="checkbox"/> 有		

特別支援学校卒業後は、製造部品を作る工場に就職していた。面倒見の良い上司の元では、素直に指示を受け入れ、元上司も根気よく教えてくれていたらしく、安心して働いていた。上司が変わり、あまり面倒を見てもらえなくなってからは、「上司からの注意が怖い」「仕事が集中して取り組めない」など心配を訴え退職した。

本人は、周りの人からは仕事のことなど分かっているとされるタイプで、仕事が断れない。仕事で困っていても、自分から相談したりできず、どんどん抱え込んでしまい不安をたくさん抱えてしまう。

2年ほど自宅で引きこもり状態。父親が交通事故にあい、右半身に麻痺が残り、本人の面倒が見られなくなった。

声掛けがあれば、家のことを少し手伝ったが、どのように進めれば良いのか分からなくなってしまふことが度々あった。調理、洗濯、掃除の仕方など根気よく教えてくれる人がいなかったため、経験が積み重なったのだと思う。

仕事についても、以前の会社で人間関係がこじれてしまつて退職したので、働きながら何か困ったときには相談できること、サポートを受けながら就労できるB型事業所の利用を希望した。

見守りの環境が整えば、力を発揮することは可能だと感じる。

《その他》

主治医からは「薬は軽いものなので、生活が安定し精神的に安定すれば、いずれ必要がなくなるかもしれない。本人が困っている時に周りが気づける関係性ができると、これ以上の薬の必要性はない。」と言われている。そのためには、生活の場でのサポート体制は欠かせない。困った時にサインを出す力をつけられると思っている。

